

# アナウンサー内定者のキャリア・アンカーに関する研究

スポーツ経営組織学ゼミナール 1315054 堀池 亮介

## 1. 研究動機・研究目的

近年、採用倍率がキー局では約 1,000 倍以上とまで言われるアナウンサーの採用試験は非常に早い時期から始まる。2019 年入社を対象にしたインターンシップは大学 3 年生の 6 月頃に行われ、本採用試験は早い局では 10 月頃に始まった。一体、アナウンサーという職業を選択するにあたり、内定者はどのようなキャリア・アンカーを築いてきたのだろうか。これまでの経験や将来のキャリアへの展望がどれほど影響してきたのであろうか。また、多様化してきたアナウンサーの職能の中でも特にスポーツと関わることが多い。さらには近年、スポーツ経験者のアナウンサーが多く見られる。そこで本研究では、アナウンサー内定者にはどのようなキャリア・アンカーが存在するのか、スポーツがアナウンサーになるためのキャリアにどのように影響しているのかを明らかにすることを目的としている。

## 2. 研究方法

2019 年入社予定のアナウンサー内定者 5 名を調査対象とした。選定基準として、男性 3 名、女性 2 名、内定先はキー局、地方局等、様々な局から選定するなどし、偏りの少ないように選定した。

本研究では、まず対象者に、Schein (1990) により開発された「キャリア指向質問票」40 項目を用いた。質問は価値観に対する 8 つのカテゴリー「①専門・職能別コンピタンス (TF) ②全般管理コンピタンス (GM) ③自律・独立 (AU) ④保障・安定 (SE) ⑤起業家的創造性 (EC) ⑥奉仕・社会貢献 (SV) ⑦純粋な挑戦 (CH) ⑧生活様式 (LS)」、各 5 問で構成され、6 段階にて共感度を指数化する。さらに、非常に強く共感した質問を 3 つ選択し 4 を加算する。それらすべてをカテゴリーごとに合算し平均を求め、最も高い数値を示したカテゴリーが、キャリアに対する犠牲にたくない自身の価値観 (キャリア・アンカー) となる。

次に Schein (1990) のキャリア・アンカー・インタビューによる半構造化インタビューを行った。答えたくない質問には答えなくてもよいこと、プライバシーを尊重することを伝えた。録音に関しては対象者全員から了承が得られ、録音したデータは全て逐語記録に書き起こしされた。インタビューは対象者の家や喫茶店等、騒音が少ない場所を選び、30 分から 45 分の間で行われた。

## 3. 主な結果と考察

本研究では、2019 年入社予定のアナウンサー内定者を対象に、アナウンサー内定者のキャリア・アンカーを明らかにすることを試みた。質問紙調査から集計された点数により明らかになったキャリア・アンカーと、キャリア・アンカーについてのインタビュー調査を行い、キャリアにおける“軸”を導き出した。その結果、

① 奉仕・社会貢献 (SV) と純粋な挑戦 (CH) は高い数値、全般管理コンピタンス (GM)、

自律・独立 (AU)、起業家的創造性 (EC) に低い数値が表れた。

② 内定者 5 人中 3 人にスポーツとキャリア・アンカーの強い関連が見られた。

アナウンサーという職業は、公共の電波を利用し、多くの視聴者に対して情報を発信する力がある。また災害時や、事件発生時などの多くの場で報道の最先端として情報を伝える役割を担っている。そのため、「人に伝える」ということを大切にし、世の中をよりよくすることに対して関心を持つ人物が、アナウンサーを目指す傾向にあると考えられる。

また、アナウンサー採用は非常に高い倍率の中で採用の一枠を争う。入社後も、各番組に起用されるアナウンサーの数のほとんどが 1 人ときわめて少ない。また、多くの学生が興味を持ちながらも、なかなかチャレンジできないアナウンサーという職業にチャレンジする姿勢が、「純粋な挑戦 (CH)」の数値の高さに繋がったと考えられる。

アナウンサー内定者全てに共通したスポーツの関わりがキャリア・アンカーに影響を与えているとは必ずしも言えるわけではない。しかし、今回調査した 5 人全てのキャリア内にスポーツとの関連があり、キャリア・アンカーとしてスポーツが影響していたと考えられるのは 5 人中 3 人だった。

#### 4. 結論

本研究では、2019 年入社予定のアナウンサー内定者を対象に、アナウンサー内定者のキャリア・アンカーを明らかにすることを目指した。その結果以下のような結果が得られた。

- ① アナウンサー内定者のキャリア・アンカーの特徴には奉仕・社会貢献 (SV) と純粋な挑戦 (CH) が大きく存在し、全般管理コンピタンス (GM)、自律・独立 (AU)、起業家的創造性 (EC) の特徴はあまり存在しない。
- ② 内定者 5 人中 3 人にスポーツとキャリア・アンカーの強い関連が見られた。
- ③ アナウンサー内定者のキャリア・アンカーは過去に所属した経験から変わることなく持ち続け、目標や目的に対しての行動に関連している。

#### 5. 卒業論文の執筆を終えて

本研究では、十分と言える程の対象者に対し調査を行うことができなかったが、アナウンサー内定者のキャリア・アンカーの特徴を明らかにし、把握することができた。

また、過去の経験やこれからの関わりとしてなど、様々な形態ではあったが、アナウンサー内定者のキャリアとスポーツの繋がりを明らかにし、把握することができた。

そして、アナウンサー内定者のみに焦点を合わせ、調査を行うという研究はこれまではあまり実施されてこなかった。そのため、本研究はオリジナリティのある調査であったと考えられる。しかし、上記にあるように、十分な数を対象として調査を行うことができなかったことや、一貫した質問を行うことができなかったなど、数多くの課題が浮き彫りになったことも明らかである。

今回の研究がアナウンサー内定者に対して行う調査の第一歩となり、アナウンサーという職業を理解し、これからアナウンサーを目指す人々に対しての一助となれば幸いである。